

**(仮称) 東名静岡東スマートインターチェンジ完成イメージ図**



**(仮称) 東名静岡東スマートインターチェンジは2019年秋に開始**

(仮称) 東名静岡東スマートインターチェンジは2013年6月、静岡市道大谷改良区7号線(都市計画道路・広野大谷線)との連結許可を国土交通大臣より頂き、事業を開始。2019年秋の開通を予定。

新ICは、東京方面上り線、名古屋方面下り線のいずれにもONとOFFができるフルインター形式で、24時間、ETC車載器を搭載した全車両が利用できるスマートICです。

新ICのアクセス道路である(都)広野大谷線と接続する(都)下大谷線は、長沼を経由して新東名の新静岡ICと結ばれます。また、西側ではツインメッセへの連絡路である(都)東町高松線、静岡駅南口への連絡路である(都)静岡下島線と接続する道路です。

新ICの整備効果としては、東名へのアクセス向上、医療機関への搬送時間短縮、災害時の復旧支援ルート確保、日本平・三保松原等の観光産業支援、工場集積地区へのアクセス向上等が挙げられ、新IC周辺の大谷・小鹿地区では、新しいまちづくりが進められています。



**中部横断自動車道は清水〜長坂が2019年度に開通**

中部横断自動車道は、静岡市から山梨県を通り、長野県小諸市に至る全長約132kmの高速道路。東名、新東名、中央、上信越と接続し、日本海まで到達。太平洋と日本海が高速道路でつながります。

現在、山梨県の六郷IC〜双葉JCT〜中央自動車道(仮称)長坂JCTの45.6kmと、長野県の八千穂高原IC〜佐久小諸JCTまでの22.4kmが開通。長坂JCT〜八千穂高原ICは計画段階です。

新清水JCT〜六郷ICの49kmは工事を進めています。このうち、新清水JCT〜富沢ICは2018年度に開通予定。富沢IC〜南部ICは2018年度及び南部IC〜下部温泉早川ICは2019年度に開通予定。(ともにトンネル工事の進捗が順調な場合)。下部温泉早川IC〜六郷ICは2018年度に開通予定。

新清水JCT(仮称)長坂JCTの94kmが2019年度に開通すると山梨県の甲府市から清水港までのクルマでの移動は1時間40分で結ばれます。